



オルガンやハーモニカの音を聞いたことがありますか。どちらにもリードという、すごい金属の板を空気でふるわせるので、音がにている。リードオルガンというのは、このリードを使っているオル

リードオルガン
(アメリカ)



アメリカの古いリードオルガンの演奏
|| 2013年、浜松市楽器博物館

宣教師が日本に伝える



リードオルガンは、フランスで生まれました。それがアメリカで広まり、今の形になりました。大きなパイプオルガンのかわりに教会や家庭で使われました。

日本に伝えたのは、キリスト教を広める宣教師とよばれた人たちです。教会で、賛美歌の伴奏に使われました。また、日本中の小学校で、音楽の時間に歌の伴奏に使われてきました。

浜松市楽器博物館の嶋和彦先生は「オルガンは、電気がなくても大きい音が出るので、日本では運動会の時などに、校庭に持ち出してひいたんですよ」と教えてくれました。

ガンという意味です。空気が、足踏み式のふいこで送ります。



2015年8月2日 朝刊 YOMOっと静岡

①リードを使って音を出す仕組みを説明しましょう。

②リードオルガンは、どこの国で生まれましたか。

③リードオルガンを日本に伝えたのは、どんな人でしょうか。

年 組 名前